

診療所長 今月の二句

平成二十八年十二月

枝落とし 庭師は次を見据えたり

年末となり、診療所の庭も、別宅の庭も、長いお付き合いの造園業の方に、お手入れをお願いしました。大胆に枝を払っていきます。木々は丸裸になったようです。これは、素人の感想。職人は、しっかりと、来年の芽吹きを見据えて、準備をしてくれました。

こやし

枯葉こそ 次への肥料 庭の樹よ

散って朽ちる枯葉。掻き集める作業は、晩秋の風物詩ならぬ、日々の煩わしい作業。しかしながら、枯葉は、堆肥として活用せねばなりません。次への重要な栄養源になります。庭の植物たちに、そう語りかけながら、秋が過ぎました。自分自身にも、言い聞かせながら。